

教育学習支援検討特別委員会事例報告会

「伝統的な図書館を超える図書館活動 ―学修支援の実際―」

Case study workshop - Library Activities Beyond the Traditional Library Mission
: the JANUL Special committee on educational and learning support
プログラム

日 時 平成 26 年 2 月 12 日 (水) 13 : 00 ~ 17 : 30
会 場 筑波大学東京キャンパス文京校舎 134 講義室
主 催 国立大学図書館協会

-
- 12:00 受付
13:00 開会
佐野 充 (名古屋大学附属図書館長)
13:05 本報告会の趣旨説明及び小委員会活動報告
岡部 幸祐 (名古屋大学附属図書館情報サービス課長 教育学習支援検討特別委員会事務局)
13:25 ラーニング・コモンズに関する文献調査報告
野村 正人 (広島大学図書館図書学術情報普及グループリーダー)
13:35 高等教育における情報リテラシー基準検討状況報告
鈴木 宏子 (北海道大学附属図書館利用支援課長)
13:45 北米の学習支援活動の考え方と実際―イリノイ大学から
Library Activities Beyond the Traditional Library Mission: New Learning Support Services
講師 リサ・ヒンチリフ氏 (Lisa Janicke Hinchliffe)
Coordinator for Information Literacy Services and Instruction
Professor University Library
University of Illinois at Urbana-Champaign
15:00 休憩及びパネル展示 (会場前ホールにて事例調査に基づくパネル展示を行います。受付後開会までの時間にもご覧ください。)
15:30 学修支援実践事例報告及び討議 ― 図書館サービスの革新に向けて
○千葉大学
「学習支援のために「図書館」は何ができるのか? : 学生を見る、声を聞く」
庄司三千子 (附属図書館学術コンテンツ課副課長)
○お茶の水女子大学
「学習支援は大学内のどこでどのように行われているのか : お茶大のケースから図書館の可能性を探る」
森いづみ (附属図書館 図書・情報チームリーダー)
○新潟大学
「大学を元気にするわくわく図書館 その2 : 学修支援」
高井真利子 (附属図書館学術情報部学術情報サービス課情報調査係長)
○名古屋大学
「学習支援は連携から : 学習支援促進のための三大学連携事業」
岡部幸祐 (附属図書館情報サービス課長)
○広島大学

「図書館が行うライティングセンターの運営:学術的文章を書く力を育むために」

上田大輔（図書学術情報普及グループライティングセンター主担当）

○国際基督教大学

「ライティング・センター構想と図書館」

畠山珠美（図書館長代行）

17:10 まとめ

リサ・ヒンチリフ氏、酒井清彦（名古屋大学附属図書館事務部長）

17:25 閉会

加藤 信哉（筑波大学附属図書館副館長）

※イリノイ大学リサ・ヒンチリフ氏の講演には通訳を準備しております。

また、**Ustream**でのライブ配信を予定しています。

※18時より茗溪会館（会場より徒歩5分）で情報交換会を予定しています。会費は5,000円の予定です。